

理想的な防災マニュアルとは？

理想的な防災マニュアルとは、「平常時に当事者が「被害状況の認識」を行い、「問題点の洗い出し」、「防災対策の検討と実施」、「分析・訓練等による対策の評価」を行うことにより、「被害抑止」、「災害対応/被害軽減」、「最適復旧復興計画」の三つの防災対策を明確なイメージを持って実施できることで、総合的防災力の向上に寄与するものである。

被害抑止

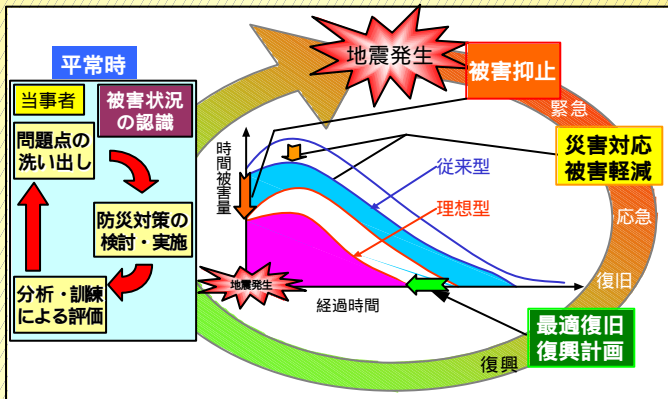
◇日常時からの対策で物理現象としての災害 (Hazard) を社会や地域に負のインパクトとしての被害 (Disaster) に結び付けない努力

災害対応/被害軽減

◇被害発生後の適切な対応によって、その影響が広く波及することを防ぐ

最適復旧/復興計画

◇災害状況からの立ち上がりを迅速にすることで災害による負の影響を最小化する



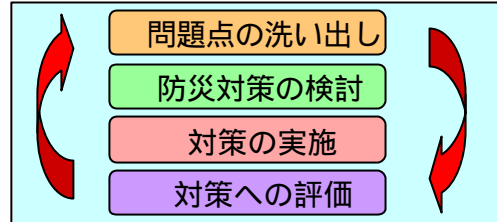
理想的な防災マニュアルの効果イメージ

そこで

本研究では

次世代型防災マニュアル構想

総合的防災力を向上できる環境整備



機能

- 既存マニュアルの分析/評価
- 目的別/ユーザ別編集
- 当事者によるマニュアル作成/更新

マニュアル環境

A. 各項目ごとにINDEXを付加

主体 サービス 対策期 作業開始 終了時間
発生業務量など

B. マニュアルの構築

Hyper-text Database
Relational Database

C. インターネット

WWWブラウザだけで
利用可能



しかし

現行の防災マニュアルは
災害発生直後からの利用が主目的

さらに

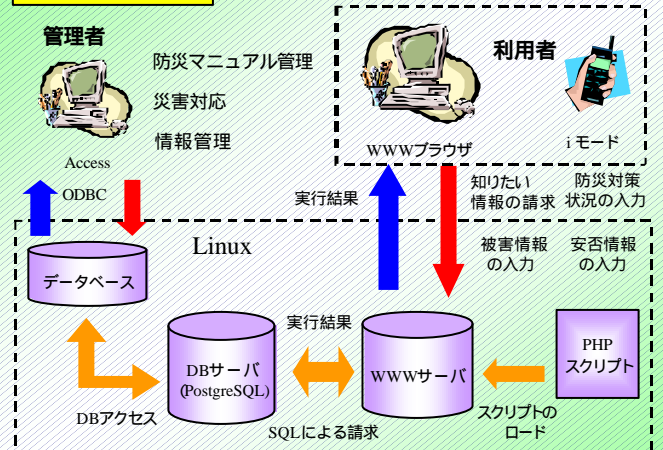
- ◇お上指導型/提供型
- ◇分厚い紙の印刷物

そのために

- ◇責任の所在が不明確
- ◇対象組織/地域の特性把握が不十分
- ◇検索性や更新性が悪い
- ◇マニュアルの良し悪しが評価できない

総合的防災力の向上に役立たない

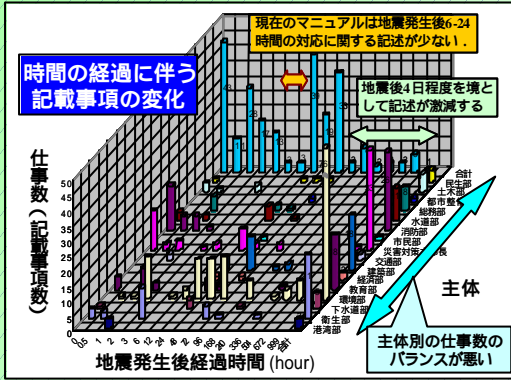
システム概要



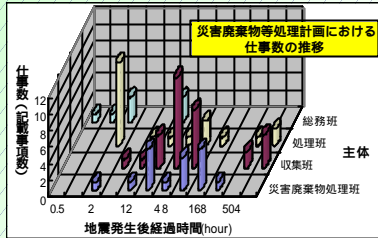
主要機能概要

◆ 既存マニュアルの分析/評価機能

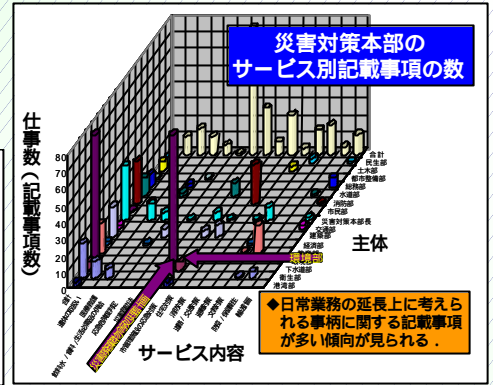
◇ 各項目間の関係や全体としての内容のバランスなどを様々な角度から合理的/客観的に判断できる。



主体、作業開始時間から見た分析



災害廃棄物等処理計画について
主体、作業開始時間から見た分析

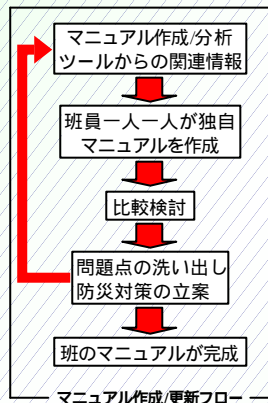


主体、サービスから見た分析

◆ 当事者による マニュアル作成/更新機能

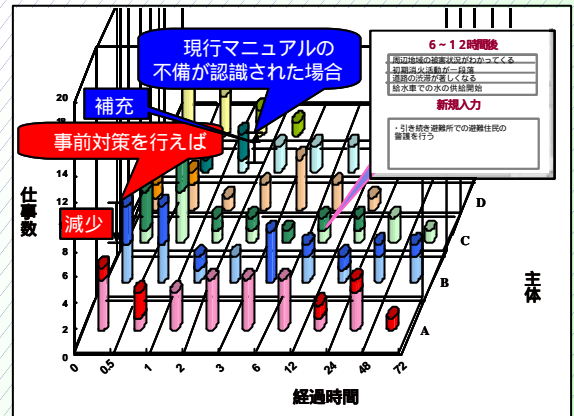
◇ 右図のフローに従ってマニュアルを作成/更新することで、地或組織の防災上の担当者が自分の問題点を把握することができる。

◇ 完成した時点では、背景を含め対応業務の内容が理解されているので、災害発生時にマニュアルなしにスムーズな対応ができるようになる。



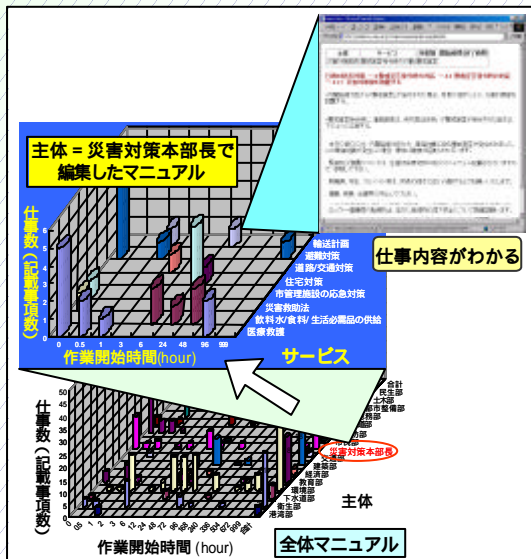
マニュアル作成/分析ツール

◇ マニュアル分析/評価機能とマニュアル作成/更新機能を組み合わせることにより、災害対応業務の関係や関連情報が容易に入手できる。また既存マニュアルの分析に基づいた項目の補充や事前対策による事後の仕事量の変化も評価できる。



◆ 目的別/ユーザ別編集機能

◇ INDEXから必要な条件を任意に選択することによって、独自のマニュアルをリアルタイムに編集できる。



まとめ

